

あなたのその指導・言葉
大丈夫ですか？

振り返りチェックシート

《コトバ編》



以下の質問にお答えください		該当するものに☑
1	「何回言われたらわかるの?」「一体、何やってるの?」 「どうしてそういうことするの?」 「誰に向かって、 そんな口のきき方をするんだ?」 など、質問形式で問い詰めることがある	<input type="checkbox"/>
2	「やりなさい・勝手は許さない」という意図を語らず 「やる気がないなら、やらなくていい」 「もう勝手にすれば」「好きにすればいいじゃん」 裏を読ませようとする	<input type="checkbox"/>
3	「早くしないと〇〇させないよ」 「じゃあ〇〇できなくなるけどいいね」 「もうみんなと〇〇させられないな」 脅して動かそうとする	<input type="checkbox"/>
4	「お母さんに言うよ」「お父さんに聞いて来いよ」 「〇〇コーチに怒ってもらうからね」 虎の威を借る	<input type="checkbox"/>
5	「そんなこと1年生もやりません」 「1年からやり直しな」「幼稚園に戻った方がいいね」 下級生と比較する	<input type="checkbox"/>
6	「それ、ダメだって言ったよね」 「もうやらないはずだったよね」 「さっき約束したばかりだよ」 指導者側に責任がないことを強調する	<input type="checkbox"/>
7	「じゃあ、もういい」「さようなら」「バイバイ」 見捨てる	<input type="checkbox"/>

あなたのその指導・言葉
大丈夫ですか？

振り返りチェックシート 《オコナイ編》



以下の質問にお答えください ※小文から自分の指導はどうかを再確認しましょう		該当するものに☑
1	高圧的な指導、大声で怒鳴る ・大人の過度な期待に、子供を無理矢理に答えさせようとしていませんか ・指導成果が実現しない焦りから、高圧的な指導を強いて、子供が指導者の顔色ばかりをうかがっていませんか ・威圧によって子供をコントロールしようとしていませんか	<input type="checkbox"/>
2	目を合わせない、笑いかけない ・練習に来て一度も指導者と言葉を交わさずに帰ってしまう子どもはいませんか ・指導者は、限られた時間の中で「心の安全地帯」となっているか ・目を合わせ、笑いかけることで、「見ているよ」「大丈夫だよ」という安心感を子どもに与えていますか	<input type="checkbox"/>
3	特定の子どもを放置する ・一生懸命、指導者にアピールしてきているのに、この子を無視していませんか ・子どもの「積極性や努力を正しく評価されていない」という気持ちは、心を焦がらせ、指導者への不信感へ繋がります ・練習の流れに合わないからといって、無視してはイケマセン	<input type="checkbox"/>
4	活動に参加させない・一方的に練習から排除する ・「上手く出来ないなら見てなさい」と伝えるのは「指導の放棄」や「排除」を意味する ・苦手さを理解し、スモールステップでの取り組みを重視し、自信を持って練習に参加するよう導くことが肝心です	<input type="checkbox"/>
5	必要な賞賛をしない、成長を価値づけない ・「よく頑張ったね」と努力を認め、「できたね！よくやったね！」と賞賛することはとても大切です ・子どもの成長に関心を抱く一方、励ましなどの適切な指導を放棄してはイケマセン	<input type="checkbox"/>
6	必要な情報の提供や共有を怠る ・指導内容を他者と共有することを拒むことも「可能性の放棄」につながります ・「自分には自分のやり方がある」は諸刃の剣。確かに、それが功を奏することもあります。コーチングは社会的な営みである以上、「独善的」「独裁的」であってはなりません	<input type="checkbox"/>
7	子どもの気持ちや心理的な危機に気づいていない ・「本来怠ってはいけない危険の察知ができていない」ことも大きな問題です ・危険を放置すること、例えば、熱中症が危惧される中で水分補給を怠ったり、いじめを放置することも絶対にあってはなりません	<input type="checkbox"/>

